



〈ゴボウの甘みが増しています〉
ハウスの中のコマツナやホウレン草なども、順番に大きくなってきています。
太いゴボウは、輪切りにして焼くとおいしいです。

2024.02

はたけは
ひろいな
おおきいな

標高500mの山のてっぺん、世羅高原の畑から、畑の風と、採れたての野菜のある毎日をお届けします。
農薬、化学肥料を使わずに育てました。



〈一日中、氷点下〉
1月24日、この日は一日中氷点下。こんな日には、ネギも白菜も凍っています。
ネギは、凍らないように前もってハウスの中に仮植えしておいて、出荷することも…。



〈ほんの少しだけ、春の気配…〉
アサツキの芽が出てきています。寒いけど、少しずつ春が近づいてきています。
今年の春は早いのかなあ～。



〈白菜が小さくなるわけ〉
ヤサイゾウムシの幼虫が中心に向かって穴を開けます。むいて、むいて、むいて…あー、もったいない！

変わったこと、変わっていないこと

30年程前に比べて、ここの畑が変わったことって何だろう…と考えてみると、それは明らかにイノシシやシカが増えたこと。1996年、畑を始めた頃は山を切り開いた畑の周りに柵はなく、ジャガイモやサツマイモ、カボチャなどをたくさん作ることができていました。狩猟者の減少や耕作放棄地の増加など、イノシシやシカが増えた理由はいろいろあるようですが、2011年、畑の周りを柵で囲むことになりました。

2018年からジャガイモやサツマイモを作るのをやめ、2012年から作り始めていたサトイモをたくさん作るようになりました。トウモロコシも、虫のつきにくい時期にハウスの中で作るようになりました。柵で囲っていない畑と、2022年のお正月に柵の壊された畑は、使えないまま休ませています。

2月になると、3月に露地の畑に定植するキャベツやレタスの種まきが始まります。その季節に無理なく作ることのできる野菜を作ること、野菜を作り始めた頃からずっと変わりません。

〈2月の野菜〉

露地の畑

白菜、大浦太ゴボウ、ネギ、辛味大根、パースニップなどが収穫中。
サトイモは、保存しているものを出荷しています。

ハウスの中

小カブ、コマツナ、水菜、ホウレン草、赤茎ホウレン草、赤リアスからし菜、ロケット、ラディッシュ、ミニ大根いろいろ、黒キャベツ、間引き人参などが収穫中。